

神学校献金の取り組み 日立バプテスト教会の場合

日立バプテスト教会 教会主事 井伊 肇

日立バプテスト教会は、現在会員16名中、壮年メンバーが4名（内1名は遠隔地在住）と少ないこともあり、壮年会独自の神学校献金活動は行わず教会全体の活動の中で取り組んできました。

これまで、6月末の「神学校週間」を中心とした献金活動が主体であり、特に私自身が全国壮年会連合の役員を担っていましたので、神学校献金活動の仕組みや具体的内容の広報や、東京バプテスト神学校（以下東バプ）が、関東の三つの地方連合立の神学校であることもその都度広報してきました。けれども、神学生への支援と言う視点から、東バプへの献金は正直言いますと低調でした。

それでも、毎年ではありませんが、東バプ神学生の夏期奉仕を利用して、説教奉仕や神学生から具体的なお話を聞く機会が与えられ、東バプはそれほど遠い存在ではありませんでした。

ところが、2015年度から無牧師となり、試行錯誤する中で、2年目の総会で、当面専任牧師を置かず信徒による相互牧会で会衆教会を建てあげていこうとの教会総意に至り、その中で私が東バプでの学びを始めることで、信徒にとって、より身近に感じられるようになりました。

無牧師の中、私自身の信徒説教や教会の様々な奉仕の中での学びは、信徒の皆さんには無言の証しとなったので

しょうか、一昨年ある女性信徒から東バプに、大口献金が献げられ、感謝してお送りいたしました。

これからも、東バプがより教会の事柄となるように、神学校献金活動に取り組んでいきたいと思っております。



神学校週間でのアピール

神学校献金・後援会献金（2021年4月～6月）

2021年度 4月～6月
後援会献金（個人）実績
59名・60件 合計373,000円

井上昭子 壺岐基子 越智満 奥谷恭子 奥田厚子
岡田富美子 丸山勉 岩瀬ミチ 鬼澤寛 久保公平 熊澤コト
古根村聖子 古川博子 後藤ますみ 向井浩子 高柳美枝子
鴻野清美 鮫島泰子 山口宜由紀 山崎清美 山川許子
山崎美奈 四津明美 持山優子 小出久美 小松澤一枝
松田俊介 松田朝子 上原一晃 森山ひろみ 星田恒 西方泉
青山祐一 石垣恵子 石垣茂夫 石水美佐子 川勝高宏
川平朝清 村上真由美 大場征子 竹澤明 中澤なつみ
鳥飼好男 辻真理子 田村俊彦 田村真由美 渡部富夫
都丸利子 藤田尚子 内藤淳一郎 富田直美（2） 武章子
平井純子 豊永義典 木元和子 木村晋治 柳澤芳信
櫻井朋美 斎藤美津栄

2021年度 4月～6月
教会・集会献金実績
5件 合計135,000円

水戸バプテスト教会 蓮根バプテスト教会
木更津伝道所 相模原希望伝道所
入学礼拝席上献金

東京バプテスト神学校の働きを
支援するために
あなたも「後援会」にご入会ください

1. 定期支援
個人会員 年額1口 ¥5,000
何口でも歓迎いたします
2. 自由献金支援
支援額も、支援回数もご自由にお決めください。

郵便振替口座 00210-8-75658

東京バプテスト神学校後援会

※専用払込票をご希望の方は、メールにてお申込下さい。

東京バプテスト神学校後援会

会 長 秋山 信夫（上尾キリスト教会牧師）
副 会 長 山岸 明（仙川キリスト教会牧師）
総 務 岩瀬 礼（綾瀬小園キリスト教会牧師）
会 計 村上 千代（泉バプテスト教会協力牧師）



東京バプテスト神学校 後援会 NEWS

No.31

Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ seminary@tbts.jp

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141
発行日：2021年7月28日 発行所：東京バプテスト神学校後援会 秋山 信夫

今号のトピックス

巻頭言（東京バプテスト神学校 後援会副会長 山岸 明）… p.1	神学校献金の取り組み …… p.4
卒業生の証 …… p.2	神学校献金・後援会献金（2021年4～6月）
受講生・新任教役者の証 …… p.3	

巻頭言

みんなで祈って、支援しよう

東京バプテスト神学校 後援会 副会長 山岸 明（仙川キリスト教会牧師）



主の御名を賛美します。

東京バプテスト神学校、また神学生のために、祈りとご支援をいただき感謝いたします。今、コロナ禍にあって教会も神学校も大変厳しい状況の中に置かれています。教会では活動を縮小したり、また休止せざるをえない状況が続いております。礼拝においても会堂に集うことができず、オンラインのみになったり、感染防止対策をとりながら、礼拝を複数回に分けたり、工夫をしながら行っています。コロナ以前のように行えないもどかさやストレスから不平不満が出てしまうこともあります。大切なことは視点を変えてみることです。

それは、オンラインや複数回の礼拝になったとしても、主に礼拝が捧げられていること、神学校でも途切れることなく学びが続けられていることです。これは本当に大きな恵みです。新型コロナウイルスが一日も早く収束に向かい、教会が、神学校が以前のように皆で集まり、礼拝を捧げ、学びができることを願いつつ、いま与えられた中で主に心を向け感謝して歩みましょう。

さて、6/27-7/3まで神学校週間でしたが、皆さんの教会では何か取り組みをされたでしょうか？私たち仙川教会では礼拝の中で神学校のアピールタイムを設け、西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校の紹介をしつつ、私たちは神学校に何を期待するか、私たちに出来ることは何かを共に考え、献金のアピールを行いました。また礼拝メッセージは東京バプテスト神学校の本科で学びを続けている当教会の神学校生に取り次いでもらいました。アピールの最後に2020年度の卒業生、専攻科修了（5名）と神学本科卒業（2名）の方々を紹介し、

それぞれが主の召しに呼ばれて、遣わされた場所での働きを紹介し、教会の喜びとしました。

ご存じの方もおられると思いますが、皆様にもご紹介いたします。（下表参照）

私たちの祈りと支援がこのようにしっかりと実を結んでいることの恵みに感謝いたします。神学校を取り巻く環境は今も厳しいものでありますが、これからも多くの働き人を送り出す、東京バプテスト神学校を皆さんと共に祈り支え、さらに支援の輪を広げていきたいと願っています。後援会への加入と、お祈りも引き続き、宜しくお願い致します。

2020年度 卒業生の進路

氏名	出身教会	赴任先
李 在浩	相模原希望伝道所	相模原希望伝道所牧師
小勝 琢生	調布南キリスト教会	蓮根バプテスト教会 牧会担当牧師
清水 智子	洋光台キリスト教会	母教会で「子育て支援担当」（信徒伝道者）
鶴ヶ谷 芳昭	大井バプテスト教会	母教会で信徒伝道者
眞柄 光久	大井バプテスト教会	大牟田フレンドシップキリスト教会牧師
井伊 肇	日立バプテスト教会	母教会にて「教会主事」
柏 雅之	経堂バプテスト教会	神学専攻科進学

イエスから目を離さずに

末盛 桜子 (多摩川キリスト教会牧師)

「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」

(新改訳) ヘブル12:2

長い放蕩生活をしていた私に試練を通ることを許され、御言葉をもってキリストの教会に帰らせてくださり、献身の思いを起し、愛と真実をもって今日まで導いてくださった主に心からの感謝と賛美を捧げます。また、牧師としての歩みを愛と励ましをもって日々お支えくださる多くの先生方、信徒の皆様、背後の尊いお祈りを覚えて、感謝に堪えません。

今年の夏で牧会8年目に入ります。多摩川キリスト教会の使命である「リバイバルと世界宣教」のもとに牧師として召命が与えられ、今も尚、このような無力で無学な者が主のご用をして良いのだろうか、日々、主の助けを祈り求めながら過ごしています。そのような中で、未熟だった神学生の私を丁寧に教え、励まし、将来への期待をもって支えてくださった神学校の先生方のことを思うとき、頑張る力が湧いてきます。東京バプテスト神学校で学ぶ大きな恵みは、何よりも教えてくださる先生方が現役の牧師だということです。牧会の戦いを経てきた先生方から学べることは、貴重な体験でした。当時、批判を持つこともありましたが、実際に現場に出たとき、牧師の働きがどれほど難しく、孤独で、弱さを感じるものであるか、神学生の時には何も知らず、傲慢であった自分を思い起こします。

日曜日毎の礼拝メッセージ、祈祷会をはじめ諸集会での御言葉の取り次ぎと祈りの導き、その他、日々の牧会…主日の奉仕を終えた後、何度となく泣きながら家に帰りました。そして、次の日の朝、肉体の疲れを覚えながら早天祈祷会に行き、主の御前に立ち、御言葉を聞き、祈り、聖霊による慰めと癒しにあずかり新しい一日が始まる。7年間、そして、今日もまた、そのようにして主の憐れみにあずかり歩んでいます。病気を患う時には、より一層弱さを覚えます。しかし、貧しさの中で「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」、主をひたすらに見上げ、御言葉に留まり、主の助けを祈り求めていくとき、「神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこにいて助けてくださる。(詩編46:2)」との御言葉の通り、必ず助けを与え、力を与えてくださること、「万事が益となるように共に働くということ(ローマ8:28)」教えてくださいます。牧会を通して、主の御言葉を体験し、主の十字

架と復活を体験し、主が生きておられることを知ることは、牧師となって何にも代えがたい恵みです。

今年のペンテコステ礼拝では、エゼキエル書37章から「枯れた骨よ、主の言葉を聞け」というタイトルでメッセージを語らせていただきました。礼拝後、一人の信徒の方がやってきて、礼拝の宣教を通して主の語りかけ、迫りを覚え、「私は枯れた骨です」と、涙を流し悔い改めの告白をされました。教会に働く聖霊の恵みをほめたたえ、改めて教会の宣教の使命を思い起こされる時となりました。どんなに弱く貧しくとも、教会が祈りと御言葉に立つて行くとき、主は枯れた骨に命の御言葉を与え、主に立ち帰る者たちを起し、霊の回復を与えてくださいます。そして、私自身が置かれた場所で一人のキリスト者として真実に主の御言葉を聞き、日々、主に立ち帰り、忠実に従って行く者となりますように、これからも祈り励んで行きたいと願います。



2019年 サマーキャンプ

驚きと感動の賛美歌の学び

武 章子 (上尾キリスト教会)

教会音楽の学びにずっと憧れていました。でも、なかなか家庭と仕事との三本柱に踏みきれず、いつかは…と東京バプテスト神学校の要項を眺めていました。そんな私に朗報が舞い込んだのは昨年夏の終わり。連続公開講座「教会音楽概論」はZoomで受講でき、その日欠席でもYouTubeで講座を見ることができるといいます。待ってましたとばかりに申し込みましたが、18時30分には毎回遅刻の覚悟でした。果たして半年間続くだろうか…。一抹の不安は、講座が終わりに近づくにつれ、もう家に駆け込んで大急ぎでパソコンを立ち上げる金曜日にも終わるのかと寂しさに変わりました。そして見つけたのが同じ金曜日の時間の「賛美歌学」です。飛びついたのは言うまでもありません。正直なところ皆さんについて行くのが精一杯ですが、教会音楽概論では様々な視点からの賛美を学び、賛美歌学では賛美歌の歴史やその変遷に驚いたり、感動したり。また慣れ親しんでいると思っていた新生讃美歌はまだ知らないことだらけで、実はそれぞれの賛美歌の背景を知る手がかりがいっぱい詰まっていることを知りました。お馴染みの賛美歌もそれらを紐解きつつ、新たな出会いを楽しんでいます。



愛の泉が湧く

眞柄 光久

(大牟田フレンドシップキリスト教会 牧師
社会福祉法人「キリスト者奉仕会」チャプレン)



それは実に不思議なことなのです。牧師になると招聘された教会、その教会に集う信徒の方々、そしてその教会のある町を神によって愛するようになるのです。

私は今年の4月から大牟田フレンドシップキリスト教会の牧師、社会福祉法人「キリスト者奉仕会」のチャプレンとして招かれました。それまでは大牟田フレンドシップキリスト教会のことは大牟田にあるのかという以外知りませんでしたし、また、大牟田の町のことは炭鉱で有名で、東京から遠く離れた町だなあと言うぐらいしか知りませんでした。しかし、神は距離、時間を超越して、その教会、信徒の方々、また、その方々が生活を送っている町に牧師を送られ、愛する者として行かせられるのです。牧師とは、神の愛がどのようなものであるかをさらに知らされるために招聘されていく。

牧師館から教会の建物を見ることができます。決して、見栄えの良い教会ではありません、人によってはみすぼらしく見られるかもしれません。でも、私にはその教会、そこに集う方々、教会のある町が愛おしい。その愛おしさを神は牧師の心に植えられ、育てられる。さあ、神学生のみなさん、さらなる神の愛をいただきにまいりましょう。

今年度より、後援会の働きを担ってくださる新役員をご紹介します。

総務 岩瀬 礼 (綾瀬小園キリスト教会牧師)

東京バプテスト神学校で学んでいた時のことを思い返すに、仕事と学びの両立の大変さもありましたが、先生がたや仲間たちとの貴重な出会い、そして多くの方がたにお支えいただいたその一つ一つが、牧会の現場においても励みになることを痛感しています。神学校で学ばれている方がたを支え、少しでも励みになることができるならと願いつつ、また「働きながら学ぶことができる」という特色をもつこの神学校に興味を持っていただけるよう、働きを進めてまいります。よろしく願いいたします。



会計 村上 千代 (泉バプテスト教会協力牧師)

4月1日より、神学校で事務長の働きをいただいております。その中で、後援会役員会で会計を担当することになりました。後援会を通して、神学校を応援して下さる多くの教会や個人会員の皆さまの、伝道者養成へのあつい祈りを日々感じ、励まされています。福音宣教の器である教会の働き人を養成する神学校が、これからも良き学びの場を提供できるように、私に与えられている働きに仕えてまいりたいと思っています。よろしく願いいたします。

